

## 「あっ晴れ！おかやま国文祭開会式・オープニングフェスティバル」 について

1 開催日時 平成22年10月30日(土) 16:30~19:10

2 会場 岡山県総合グラウンド体育館「桃太郎アリーナ」

3 プログラム

### ○プロローグ

岡山県出身の詩人・永瀬清子の詩の朗読

交響詩「瀬戸内賛歌」(作詞 室山多香史 作曲 小六禮次郎)の演奏と合唱

### ○開会式典

### ○おかやま文化ステージ「愛の雫」

あっ晴れ！おかやま国文祭のイメージソング「愛の雫」に込められた愛と勇気のメッセージをモチーフにした、岡山県の自然と文化、歴史と未来を旅する一大舞台絵巻。

#### ◆第1幕「豊穣」

優しい雨が大地を潤す牧歌的な田園風景。雨上がりの“晴れの国”に歓びが響きわたる。ここには、自然に感謝し豊穣を祝う数々の祭りとともに、のどかで豊かな暮らしが今も息づいている。

#### ◆第2幕「兆し」

近頃、この国にも天災や人災が頻発。怪しい嵐の予感がする。21世紀の世界が招来した不安や混迷がこの国にも押し寄せてくる。事態を解決するため、優れた先人達が時空を超えて召還され、相談がなされる。

#### ◆第3幕「マキビ」

晴れの国の女神シズクは青年マキビを抜てきする。マキビはお供に雫の精を授けられ、嵐の主のもとへ、いざ出陣！ 風や光、波や渦に鼓舞されながら、マキビはさっそうと大海原をいく。

#### ◆第4幕「虹」

にわかに暗雲迫り嵐が襲う。嵐の主に向かうマキビは奮闘するも危機一髪。女神シズクに「嵐はあなたの中にある。嵐をも愛せ、抱きしめよ」と諭される。やがて嵐は去り、美しい夜明け。雫の精は見事な虹に化身する。この快晴に連なる“晴れの国”へと、マキビは帰途につく……

### ○エピローグ

カーテンコール、9日間にわたる国民文化祭の事業概要を紹介。

#### 4 出演者等

総合プロデューサー

神崎宣武  
(民俗学者)



国歌独唱

伊藤宏恵  
(オペラ歌手)



青年マキビ

小山田 真  
(ハリウッド俳優)



女神シズク

叶 千佳  
(女優)



イメージソング

まきちゃんぐ  
(シンガーソングライター)



#### ■ステージ・ナビゲーター「あっ晴れ組」

次代の岡山文化を担う若者の育成を目指して、公募により新たに結成。

オープニングフェスティバルに出演するとともに、舞台の進行・転換役、他の出演者の先導役を務めます。15歳から30代の熱き情熱を持ったメンバーが、4月から岡山の歴史や文化、伝統芸能をはじめ、舞台進行や身体表現などの研修・稽古を重ねています。

#### ■出演団体 17団体 約800名

岡山フィルハーモニック管弦楽団 (指揮：中井章徳)

岡山県合唱連盟

岡山県バレエ連盟

岡山県現代舞踊連盟

社団法人西大寺青年会議所

布施神社行事保存会

哲西町はやし田植保存会

神代郷土民謡保存会

備中神楽伝承研究会

備中温羅太鼓

倉敷市立下津井中学校

県立総社南高等学校ダンス部

県立岡山東商業高等学校吹奏楽部

くらしき作陽大学 Drum&Brass Corps "MUSICA"

岡山県合同バトンチーム

Guard Team "Soleil"

TH@nks